

社会資本総合整備計画の成果目標(都市公園事業)

■計画名

公園利用者の安全・安心を確保する公園整備の推進

■計画の期間

平成22年度～平成26年度(5年間)

■計画目標

県内の公園では、公園施設の老朽化に伴い、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図ることが重要となる。

このため、長寿命化計画を策定し計画的な改築や更新を行い、公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコスト削減を推進する。

また、密集市街地の防災機能の向上を図るための公園整備を行い、災害時の公園全体における利用者の安全性の確保を図る。

■計画の成果目標(定量的指数)

- ①計画期間内における改築・更新公園数34公園のうち、H22当初に改築・更新が完了する公園は0公園で、最終目標は34公園となり、割合は100%となる。
- ②未整備防災公園4公園のうち、H22当初に整備完了する防災公園数は0公園で、最終目標は2公園となり、割合は50%となる。

■指標の定義

- ①計画期間における改築・更新が完了した公園数の割合(%)

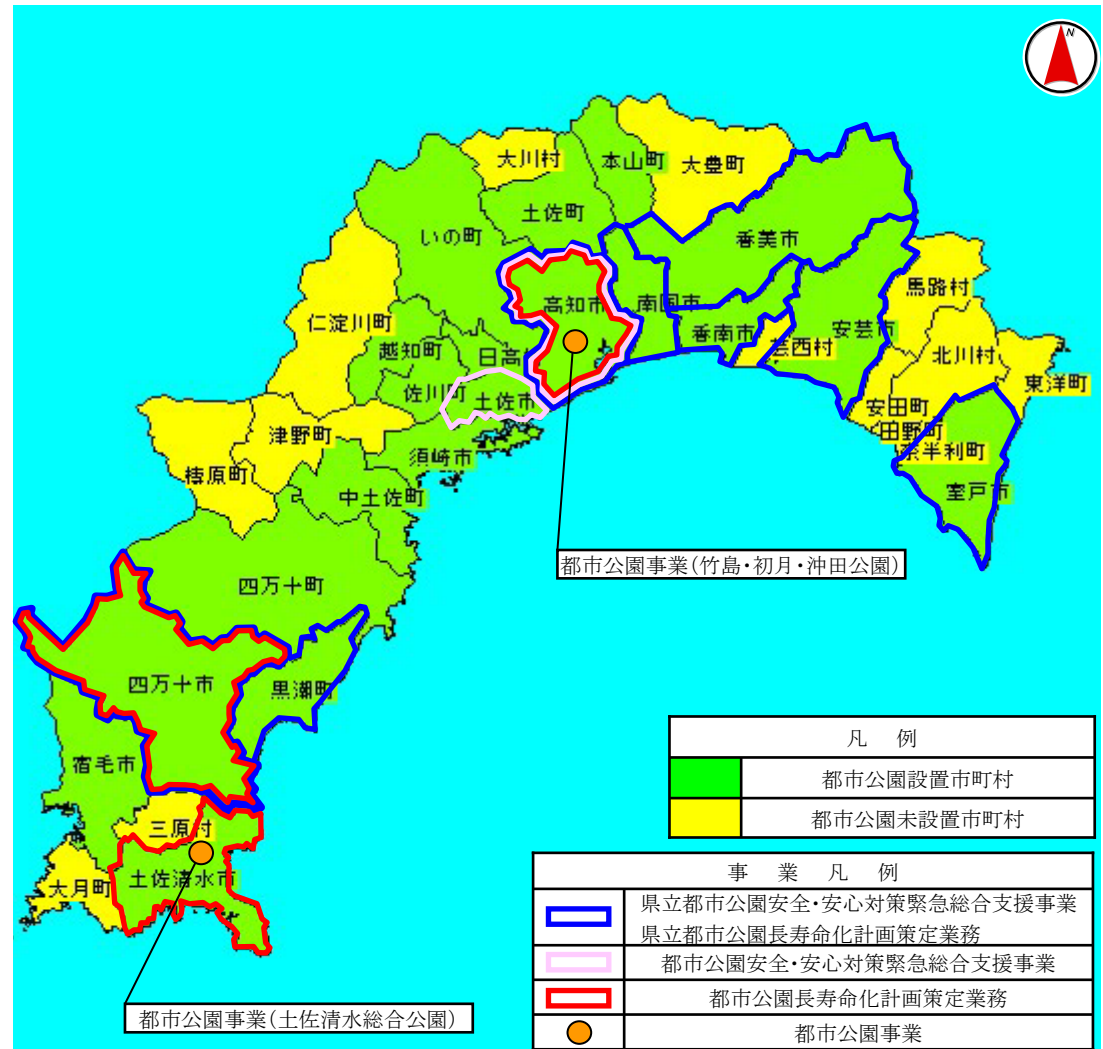
$$= (\text{改築・更新が完了した公園数}) / (\text{改築・更新計画のある公園数})$$
- ②整備完了する防災機能を有する公園数の割合(%)

$$= (\text{整備完了した防災公園数}) / (\text{未整備防災公園計画数})$$

■指標の現況値、目標値(%)

	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)
①改築更新割合	0%	45%	100%
②防災公園整備	0%	25%	50%

■事業箇所図



事前評価の結果報告

政策分野：市街地整備

計画の名称：公園利用者の安全・安心を確保する公園整備の推進

計画の期間：平成22年度～平成26年度（5年間）

交付対象：高知県、高知市、四万十市、土佐清水市、土佐市

① 目標の妥当性

計画目標の内容として、数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。また、老朽化した公園施設の更新等、緊急性の高い課題への取り組みであり、情報提供により他の地方公共団体の計画目標が確立できる。

② 整備計画の効果及び効率性

整備計画の目標と定量的指標の整合性として、目標と指標の整合性が確保されている。また、事業の効果の見込みの妥当性として、効率的な維持管理や公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減が見込まれる。

③ 整備計画の実現可能性

計画的な維持管理を把握するための長寿命化計画の策定期間が限られているため、他の地方公共団体からの情報提供の要望も高く、実現可能性は高い。

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 公園利用者の安全・安心を確保する公園整備の推進 都道府県名: 高知県

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画目標の内容	
1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	✓
②地域の課題への対応	
1) 緊急性の高い課題への取り組みである。(老朽化した公園施設の更新等)	✓
2) 情報提供により他の地方公共団体の計画目標が確立できる。	✓
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
1) 目標と指標の整合性が確保されている。	✓
②事業の効果の見込みの妥当性	
1) 効率的な維持管理が見込まれる。	✓
2) 公園利用者の安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減が見込まれる。	✓
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1) 要望の高い事業である。	✓
2) 事業執行の円滑化のために必要性が高い。	✓